

2022年(令和4年)6月9日(木曜日)

海星学院高校でのテネシー大教授陣歓迎セレモニー



室蘭市の姉妹都市、米国テネシー州ノックスビル市にあるテネシー大学ノックスビル校の教授陣4人が国際的な学術交流推進のため、室蘭市を訪れた。4人は8日、市や室蘭工業大学、海星学院高校を訪問。行政や教育機関関係者、学生たちと交流を深めていた。

(伊藤千晶)

市や関係者と意見交換

教授陣は5日に来日。7日に北海道大学を訪問し、都内の大学を回り、韓国やフィリピンへも足を延ばす予定だ。

4人は同日、青山剛室蘭市長と室蘭工大の空閑良壽学長を表敬訪問。教育や学術、ビジネス面における両市の相互交流について活発な意見を交わした。

市長、堀口典子日本語学科長、クリスター・ワイガンド政治学科准教授ら4人。市内の教育関係者らと協議し、相互国際教育体験プログラムや大学研究者間の学術・共同研究の可能性を模索するのが訪問の狙い。

留学を希望している佐藤心温さん(3年)は「米国の大学に入学する際は、何が重視されるか」と質問。回答した。

市として海外からの公式訪問団を迎えるのは3年ぶり。来蘭したのは、テネ

シー大のグレッチャン・ニースラーラー国際関係学部副学

米テネシー大教授ら来蘭

学術交流推進へ

長、231人)では同校生

長で歓迎セレモニーが開かれた。2年生63人が出席し、4人に花束や記念品を贈呈した。海外交流に关心がある1~3年生11人との交流の場も設けられ、生徒は英語で積極的に話しかけていた。

海星学院高校(堺俊光校長、231人)では同校生